

『再生可能エネルギーの固定価格買取制度』に基づく再エネ出力制御指示に関する報告

当社は、電力の安定供給確保の観点から、火力機抑制などの回避措置を行ったとしても、電気の供給量（発電出力合計）が、その需要量等（エリア需要予想、連系線活用量）を上回ることが見込まれたことから、余剰電力を満たす発電事業者さまに対して、以下の内容で、出力抑制の指示等を行いました。

対象エリア:北海道エリア（本土）

2025年度実績

[2025年4月15日現在]

[万kW]

通し番号		1	2	3	4
出力制御内容	発信日	4月11日(金)18時頃 (前日指示)	4月12日(土)実績 (速報)	4月15日(火)16時頃 (前日指示)	
	バイオマス・太陽光・風力出力制御期間	4月12日(土) 10時00分～14時30分	4月12日(土) 10時00分～14時30分	4/16(水) 12時30分～13時00分	
	最大余剰電力 ^(注1) 発生時刻	12時00分 5 12時30分	12時00分 5 12時30分	12時30分 5 13時00分	
	バイオマス出力制御量	5	5	2	
	太陽光・風力出力制御量	—	—	—	
	予想需給状況	エリア需要 ^(注2) ①	267	293	313
大容量蓄電池の充電・揚水運転 ^(注3) ②		61	35	61	
連系線潮流 ^(注4) ③		0	▲ 11	▲ 30	
小計		328	317	344	
供給力 ^(注5) ④		333	322	346	
(再掲)バイオマス・太陽光・風力出力		(231)	(179)	(208)	
バイオマス・太陽光・風力出力制御必要量 ^(注6) (⑤=④-①-②-③) ⑤		5	5	2	

(注1)実績（速報）は制御量最大となる時間帯

(注2)最大余剰電力発生時刻におけるエリア需要

(注3)揚水発電所を最大限活用

(注4)北海道一本州間連系線を最大限活用し、域外へ送電（マイナスは本州エリアからの受電を指す）

(注5)優先給電ルールに基づき火力発電等を最大限抑制

(注6)再エネ出力制御量の増減については、需給状況を踏まえ遠隔制御が可能な事業者にて対応

※オフライン制御で確保する制御量

【特記事項】

・再エネ出力制御量のうちオフライン制御量を超えるものは、需給状況を踏まえ、オンライン制御で対応